

「2017 文化遺産デザイン研修」の記録

岡田 大雄

2017年11月26日、京都府立京都学・歴史館主催「京都の歴史を歩こう！！五条通界限編」が開催された。『二つの五条通』をテーマに、デザイン研修チームを主体としておこなわれた。当日の詳細は、岩田報告に譲り、本稿では歴史学科有志の学生によって行われた当日までの活動について述べる。

【2月～4月】 2回生（当時）有志で活動を開始した。5月から新1、2回生が参加することや、秋に遠足を実施することなど、1年間のおおまかな見通しをたてた。地域のおおまかな歴史を調べ、実際に現地を歩くなどして、遠足を実施する地域を検討した結果、平安時代から現在までの道の変化が面白いのではないかといった理由から、六条通り周辺に決定した。

【5月～7月】 5月20日にお試し遠足として3回生が前年度と同様の内容で遠足を実施し、1、2回生へ参加を呼びかけた。5月下旬から1、2回生の有志を加えたメンバーで活動をはじめた。当初は地理班と文化班の2班に分かれ、それぞれの観点から六条通り周辺の地域について調査をおこなった。その後、4つの班に組み替えて、各班が調査の結果に基づいて、遠足のテーマやコースを考え、プレゼンをすることとなった。

【8月～9月】 7月20日におこなったプレゼンをもとに先生がたも交えて話し合い、遠足のテーマを決定した。班分けを変更し、遠足全体をプロデュースする総括班、調査と当日の解説をおこなう各スポットの担当班に分かれた。9月10日に第1回目のプレ遠足をおこない、参加者役の歴史学科の学生や、文化遺産学コースの先生がたを案内する形をとり、終了後にいただいた意見をもとに遠足の修正を図ることとした。その結果、遠足のコースを見直し、五条通りから松原通りの間をめぐるコースへ変更した。

【10月～11月】 11月の遠足本番に向けて、10月15日に第2回目のプレ遠足を実施した。第1回目と同様に先生がたや学生に参加していただいた。11月24日には現地で本番に向けたリハーサルをおこない、翌25日に遠足の本番を迎えた。

以上が今年度のデザイン研修の主な活動である。1回生の参加や、京都市内中心部での遠足など、昨年度までとは違う新しい試みをできた一方で、組織づくりが不十分で、責任者が明確でなかった、進め方が二転三転してしまったという反省点もあった。